

まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019(案)への意見を募集します

今後4年間の市の取り組みをまとめた計画です

「誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街」と「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」という「未来のさっぽろ」を実現するため、本年度から令和4年度までに行う取り組みの計画案を作成しました。この計画案に対する意見を募集し、寄せられた意見を基に検討を進め、年内をめどに計画を完成させます。

[詳細](#) 政策調整課 ☎211-2206

まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019(案)の主な特徴

- 総事業数613、総事業費1兆254億円。超高齢社会、人口減少を踏まえ、市民の多様な暮らしを支える取り組みに力点を置くほか、街の魅力と活力をさらに高めるため、都市のリニューアルを引き続き推進
- 今後15年間の財政収支を見据えた上で、計画期間である4年間の収支の大枠を「中期財政フレーム」として事前に示し、施策に必要な財源を確保
- 持続可能で多様性のある社会の実現を目指す開発目標「SDGs」の視点を導入

まちづくりの取り組みの一部を紹介

住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり

- 介護や医療などの潜在的な需要を把握し、支援につなげる基幹型地域包括支援センターを全区に設置
- 独居高齢者らに対する賃貸住宅の入居から退居までをサポートする相談体制を構築

全ての市民の活躍を応援するまちづくり

- 待機児童ゼロ対策の推進
- 女性・高齢者・障がいのある方などの就業を支援
- 子ども医療費助成の対象を小学6年まで拡大



子どもを健やかに育てるまちづくり

- 医療的ケアを必要とする児童・生徒らへの支援体制を充実
- 児童虐待への迅速かつ適切な対応や、妊娠期からの切れ目のない支援など、相談体制を強化

人材を育み成長を続ける躍動のまちづくり

- 介護・福祉・建設分野などの人材を確保・育成
- 民間投資を活用した都市のリニューアル

将来を見据えた魅力と活力にあふれるまちづくり

- 冬季オリンピック・パラリンピックの招致
- 区役所や地下鉄駅などのバリアフリー化を推進

行財政運営の取り組みの一部を紹介

	基本方針	具体的な取り組み
行政運営	市民サービスの高度化に向け不断の市役所改革に取り組む行政運営	SNSを活用した市政情報の発信を強化、各種手続きの利便性向上、近隣自治体との連携をさらに強化 など
財政運営	将来を見据えたバランス重視の財政運営	行政サービスの効率化の推進、受益者負担の適正化、市税の収率率向上 など

皆さんのご意見をお寄せください

市役所5階政策調整課、区役所、ホームページなどで配布中の計画案をご覧の上、11/26(火)(必着)まで

札幌市 アクションプラン2019 検索